

## 日常診療を変えるエビデンスを皆様へ。

日頃より「今日の臨床サポート」をご愛顧いただき、ありがとうございます。

2024年3月に改訂された臨床レビューの中から、日常診療に大きく影響を与えるようなエビデンスをご紹介します。

<p>酸塩基平衡のモニタリング</p> <p>★新規公開★</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸塩基平衡異常の評価方法は、古典的アプローチ（Boston法）、base excess法（Copenhagen法）、Stewart法の3つに大別される。Boston法は評価方法が簡便で、本邦では最も馴染まれた方法であり、まず理解できることが望ましい。</li> <li>・その上で、その他の評価方法のメリットやデメリットを理解することが重要である。</li> <li>・本稿においては、酸塩基平衡異常の評価を行うために必要な前提知識として生理学およびHenderson-Hasselbalchの式などを取り上げた。さらにBoston法、base excess法について例を挙げて解説した。臨床でのモニタリング、ピットフォールにも言及している。</li> <li>・詳細な解説については臨床レビューを参照されたい。</li> </ul>
<p>B型肝炎（治療）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。</li> <li>・TAF（ベムリディ）の薬剤耐性に関して、最近の日本を含めた国外臨床研究をまとめた報告では、5年間のTAF投与において3%の症例で治療抵抗性を示したが、薬剤耐性変異の出現は認められなかったとされている（Chan HLY et al. Am J Gastroenterol. 2023 Aug 10;119(3):486-96.）。</li> </ul>
<p>睡眠時無呼吸症候群</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。</li> <li>・舌下神経電気刺激療法（hypoglossal nerve stimulation : HNS）は閉塞性睡眠時無呼吸（obstructive sleep apnea : OSA）の機能要因である咽頭開大筋群の反応性に作用する治療法で、本邦でも2021年6月に保険収載された。持続陽圧呼吸療法（continuous positive airway pressure : CPAP）不耐症例に対する代替治療のオプションとして期待されるが、手術適応基準を全て満たす選択的な患者のみに効果が確認できている治療法であることから、全てのCPAP不耐患者を引き受ける治療ではないことに注意が必要である。</li> <li>・本邦において、肥満外科手術として腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が高度肥満（BMI&gt;35）に対して保険収載されている。適応基準など詳細は臨床レビューを参照されたい（参考：日本肥満学会編：肥満症診療ガイドライン2022）。</li> <li>・CPAP不耐の患者で上気道疾患を認める場合には、睡眠外科医へのコンサルトが推奨される（Kent D et al. J Clin Sleep Med. 2021 Dec 1;17(12):2507-2531.）。</li> </ul>
<p>高安動脈炎 （大動脈炎症候群）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。</li> <li>・アメリカリウマチ学会（American College of Rheumatology : ACR）およびヨーロッパリウマチ学会（European League Against Rheumatism : EULAR）は本症の分類基準を作成している [2022 American College of Rheumatology/EULAR classification criteria for Takayasu arteritis (Grayson PC et al. Ann Rheum Dis. 2022 Dec;81(12):1654-1660.)]。基準を適応する前に血管炎類似疾患の除外が必要である。合計5点以上で高安動脈炎と分類する（感度93.8%、特異度99.2%である）。</li> </ul>

### 『今日の臨床サポート』とは

エビデンスに基づく日本語によるリファレンスツールです。約1,430の疾患・症状概要、診断・治療方針などをご覧になることができます。ジェネリックを含む薬剤情報、疾患・症状の患者向け説明資料、インターネット版ではPubMedへのリンクもご用意しています。

QRコードまたはURLからアクセスできます。イントラ版をご契約の施設では、院内端末からログインなしでご覧になることができます。



<https://clinicalsup.jp/jpoc/>

ログインには、①ユーザー名、②パスワード、③施設コードが必要です。管理者の方にご確認ください。

最新エビデンスをタイムリーに受け取れます。ご登録はこちらから。

